



三布袋（本通三丁目）板長
青木孝通さん

力の源とくつろぎの空間を提供

私は厨房にいますので直接、選手たちと接する機会はありませんが、女将が聞いたチームの要望に、極力応えることを心掛けています。

特に、陸上部の長距離合宿チームには、レバーやひじき、ホウレンソウなど鉄分を必ず加えて献立を作ります。また、試合前には、揚げ物は控えて提供します。毎回、食べ残しを確認して、男子部と女子部で、量も考えます。

学生の合宿のときは、純和食ばかりでなく、洋食も取り入れて食べやすくしています。やはり、合宿中は食事が一番の楽しみですから。宿でリラククスしてもらい、練習に集中してもらいたいですよ。

「おいしかった」と仲居を紹介して届く声もうれしいですが、ここを利用していただいたチームが全国で活躍しているのを見ると、とても励みになります。

和田地区では、合宿にやってくる選手の方々が、以前、合宿に来た亜細亜大学が箱根駅伝で活躍されたときは、地域全体が盛り上がりました。

それからは、練習に来ている選手がどの団体か気になり始め、スポーツ課をお願いして和田寿公会堂に「合宿スケジュール」を貼り出してもらっています。知っている大学や企業がテレビで頑張っていると、自然に熱が入り、みんな喜んでいました。

この地区では、選手の邪魔にならない運転をしたり、公会堂の掃除当番で水道やトイレトペーパーをきちんと確認したりするなど、皆さんが集中して練習できるようにしています。これからも、たくさんの選手に相賀で練習してもらい、夢を実現して欲しいです。そして、私たちに皆さんの元気を分けてください。



相賀和田地区組長
鈴木昌彦さん



合宿事業の原点は地域住民との触れ合い（相賀和田地区）

目標に向かう姿が呼ぶ共感

地域にもたらす効果

平成13年に「大井川河川敷マラソンコースリバティ」が一部完成して以降、陸上部を中心とした大学や企業など、団体のスポーツ合宿の誘致活動を進めています。

近年、亜細亜大学の箱根駅伝総合優勝など、市内で合宿した団体の輝かしい活躍を目にする機会が多くなりました。こうした実力のある団体が市内で練習することは、憧れの選手を近くで見たり、直接指導が受けられたりして、夢見る子どもたちの良い経験になっていきます。

合宿に適した環境

市には、リバティの他、総合スポーツセンター「ローズアリーナ」や島田球場などの練習ができる施設に加え、川根温泉や田代温泉などの体を癒す施設もあり、合宿地としての環境が整っています。また、平成25年度末に伊太田地区に陸上トラックが完成すれば、合宿に訪れる団体のさらなる増加が見込まれます。

合宿に適した環境とは、設備の充実だけではありません。現在、相賀和田地区では、5km周回コースに練習に来た選手たち



東京経済大学陸上部の合宿に参加する島高生

が着替えるために「和田寿公会堂」を提供しています。そして、地元の人たちの声援により、選手たちが気持ちよく練習に取り組むことができ、選手と地域の一体感が芽生えています。

このような地域との触れ合いも、合宿に適した環境の一つだといえます。

子どもたちに夢を与える

陸上の名門、東京経済大学へ進学する島田高校の生徒が、2月に市内で行われた同大学陸上部の合宿に参加していました。

彼のような、地元の高校出身の選手が活躍している姿は、さらに子どもたちに夢と憧れを与えてくれることでしょう。

「走・食・寝」3つがそろった最高の環境



専修大学陸上部監督
伊藤国光氏

島田市は、交通量が多い関係に走るができますね。リバティも風が強いと言いますが、私は、風の対処法を学ぶにはもってこいの練習場だと思えます。実際、箱根駅伝も風に対応する練習を強化したチームは強かったですから、セールスポイントになりますよ。

リバティだけでなく、街中を気持ちよく走ることができ、コースがあり、陸上トラックも整備中で、トレーニング環境が素晴らしい。宿の人たちも笑顔で対応してくれて食事もおいしい。練習の疲れも、伊太和里の湯でリラククスできて、気持ちよく眠ることができます。このように「走・食・寝」の3つを備えているのは、合宿地として最高ですね。子どもたちはもっ

と長く居たいんじゃないかな。こうした環境は、市民の皆さんが走るのにももってこいじゃないですか？

これから走り始めようという人は、速く走りすぎず「また明日も走ろう」と思えるくらいがいい。本格的に走るならば、第三者（指導者）の目で見られることです。自分自身を見ることが出来ないですから。アドバイスを素直に受け入れて自分の中で取捨選択できる子は、超一流になります。指導者は、長いスパンで線の練習にしてください。

島田市には、また来たいと思います。機会があれば私もアドバイスしますよ。